

科目名	日本史B	単位数	4	必修選択	選択
教科書	詳説日本史 改訂版(山川出版社) 地歴高等地図 ―現代世界とその歴史的背景―(帝国書院)				
副教材	新詳日本史(浜島書店), 要点整理ゼミナール(浜島書店), 日本史重要語句チェックリスト(啓隆社)				

教科・科目の内容

2年次からの継続科目。扱う時代は、近世以降、江戸時代半ばから現代にかけての後半部分になります。授業ではさまざまな史資料を用いながら、出来事の背景や影響についての理解を深めていきます。小・中学校で学んだ内容をより深め、できるだけ史実を正確に把握していきたいと思います。特に現代に生きる我々の生活が形成される直接の起源になる時代ですので、興味関心を持って学び、ただ暗記するのではなく、なぜそうなったのか、因果関係を考えることが大切です。

日常生活や将来とのつながり

歴史を学ぶということは、単に古い出来事や人物の事績を追い求めるものだけのものではありません。歴史観を形成し、適切な判断力や決断力を身に付けることがねらいです。人間はおかれた環境の中で創意工夫を重ねながら生き抜いてきました。日本の歴史を振り返ると、その時代の自然環境や社会環境のさまざまな制約と向き合いながら政治、経済、日常生活を営んできています。「私たちはいかに明日を生きるのか」ということに深く関わる学問であるといえます。

また、国際化が進む中で、自国の歴史文化を理解していることの重要性は高まっています。過去の日本を世界の中で位置づけることで、国際社会で主体的に生きる資質を身に付けていきます。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

まずは、時代の流れを把握するため、授業ノート(ワークシート)をしっかりとることが大切です。さらに、授業に意欲的に取り組み、内容を自分で整理し、まとめ直すことで理解を深めましょう。まとめ方としては、1つのテーマごとに大きな歴史の流れをつかむことが大事です。「究タイム」で学んだ、プレスト・KJ法・ウェビング(その発展としてメモリーツリー)などの思考ツールを上手に利用しながら、大きな流れの中に、事件や関連する人物の役割をおさえていくとよいでしょう。

到達目標

我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

評価の観点(評価方法)

① 関心・意欲・態度(活動状況・ワークシート・ノート)

我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。

② 思考・判断(活動状況・ワークシート・定期試験)

我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに、国際社会の変化を踏まえ、公正に判断する。

③ 資料活用の技能・表現(活動状況・ワークシート・定期試験)

我が国の歴史の展開に関する諸史資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的現象を追求する方法を身につけるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現する。

④ 知識・理解(小テスト・定期試験)

我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身につけている。

指導学年	科目名	単位数	教科書名(出版社)	副教材名
3年	日本史B	4	詳説日本史 改訂版 (山川出版社) 地歴高等地図 ー現代世界とその 歴史的背景ー(帝国書院)	新詳日本史(浜島出版) 要点整理ゼミナール(浜島書店)

学期	学習内容	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の観点			
			関	思	技	知
一 学 期	第7章 幕藩体制の展開 第8章 幕藩体制の動揺	幕藩体制下での経済・交通・技術の発展、都市の繁栄に着目して、江戸時代の生活文化を理解する。 欧米諸国のアジア進出、国学・蘭学などの発展と産業の新たな展開に着目して、江戸後期の政治の動揺と近代化の基盤形成について理解する。	○	○	○	○
	※ 中間試験			○	○	○
	第8章 幕藩体制の動揺 第9章 近代国家の成立	欧米諸国のアジア進出、国学・蘭学などの発展と産業の新たな展開に着目して、江戸後期の政治の動揺と近代化の基盤形成について理解する。 開国から明治維新、日清日露戦争を経た明治時代について、欧米列強との関係性に着目して、近代日本の成立過程を理解する。	○	○	○	○
	※ 期末試験			○	○	○
二 学 期	第10章 二つの世界大戦とアジア 第11章 占領下の日本	大正時代から昭和20年の終戦までを扱う。日本が戦争への道をいかんにして進んだのか、政治経済や文化を総合的に理解しながら考察する。 連合国軍の占領からサンフランシスコ平和条約による主権回復までを、冷戦期の世界の動きに着目しながら理解する。	○	○	○	○
	※ 中間試験			○	○	○
	第12章 高度成長の時代 第13章 激動する世界と日本	55年体制と高度経済成長がいかんにして達成できたか、冷戦構造などの世界情勢と関連づけながら考察する。 1970年代から現在までを扱う。経済大国として成熟し、冷戦の終結と55年体制の崩壊、バブル崩壊による経済の変化の過程を理解する。	○	○	○	○
	※ 期末試験			○	○	○
三 学 期	まとめ	問題演習等で既習事項を復習し、理解を深める。	○	○	○	○
	※ 学年末試験			○	○	○

備考	進路は集団の様子で変更することがあります。
----	-----------------------